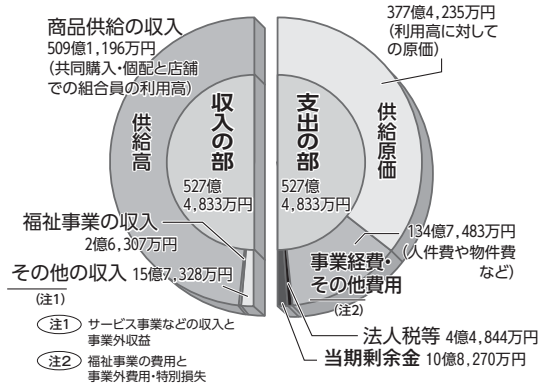


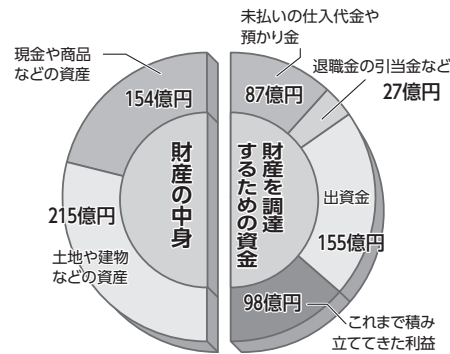
### 2013年度 事業の結果

2012年3月21日～2013年3月20日までの  
1年間の収支状況



万円未満の端数を切り捨てています。

2013年3月20日現在の  
パルコープの財産 369億円



億円未満の端数を切り捨てていますので、  
左右の合計は一致しません。

### 2013年 通常総代会アピール

私たち「生活協同組合おおさかパルコープ」は、平和でよりよいくらしの実現のために、お母さんたちが集まって創った組織です。商品の利用を中心にした事業を通して、私たちのくらしを守る努力を続けています。しかし、今、私たちのくらしを取り巻く状況は閉塞感でいっぱいです。

みなさん、このような困難な時こそ、生協に力を寄せ合いましょう。「生産者とともに食の安全と日本の農業をまもること」「原発に依存しない社会をめざすこと」「被災地への支援」など、一人ではできないことも生協に力を寄せ合えば、実現する事も可能です。

東日本大震災から2年が経ちました。あらためて、生活協同組合の原点である、学び合い、助け合い、支えあうことの大切さを実感しています。私たちは事業と被災地支援の2つを重点に、これからも活動を続けていこうと思います。

商品の利用や改善や広めあいを大切に、組合員どうしのつながりをつよめましょう。助け合い、支えあう協同の力を発揮しましょう。

また、TPP、消費税増税、原発、憲法改正など、くらしをめぐる様々な問題について学びあひましょう。

2013年6月7日

生活協同組合おおさかパルコープ

### 視覚障がい者が利用しやすい 共同購入をめざして

グループ「さざ波」で始めた、商品情報が入ったQRコードの  
大阪C選挙区 総代 徳谷 英津子さん

普及。携帯電話の音声により情報を知れるしくみで、視覚障がいのある希望者に、つるみ店で配布されています。より多くの方が利用できるよう、声の注文書を作成する「ボランティアチーム」では今後、QRコードや点字シールを発行して、共同購入でも配布できないかと試行錯誤しています。

### 生協のとりのりくみ、 活かされる声!!

「生協ならではの商品をー」と言つ茶谷と、冷凍食品などに工夫や  
寝屋川市・守口市・門真市選挙区 総代 茶谷 隆子さん

こだわりの見せてくれたり、「配送のお兄ちゃんの声で大事やで」と言つとおすすめを皆に声かけしてくれたり。自分の出した声に応えてくれる生協が大好き、その良さを他の方にも伝えられたら。売る、買うの中に安心とコミュニケーションがある。今後も発言と買い支えの輪が広がれば良いなあと思います。

### 紀ノ川農業協同組合様との 出会いで思うこと

紀ノ川農協さんと出会って、美家の耕作していない農地をたまね  
大阪B選挙区 総代 鬼頭 照さん

ぎ作りに利用していただくことになりました。日本の農業は生産者の高齢化、TPP参加など問題山積ですが、組合員との交流でお互いの信頼関係が深まり買い支えることができれば、農業を守り食の安全にもつながると思います。これからも生産者・取引先様との交流を深めていければ良いと思います。

また、会場発言以外にも32名の総代から、組合員活動、商品、共同購入・店舗、くらし・福祉、平和、自然エネルギー、被災地支援などについて意見が寄せられ文書で配布されました。

### 商品案内チラシが楽しみ!!

注文するものが定番化していたのですが、有料お試しサンプルや  
大阪B選挙区 総代 川邊 朋子さん

少量企画が始まり、買うものに幅ができてきました。北海道小粒納豆は自動注文を、ヨーグルトがおいしくなるとまた買うように、4枚切食パンは家族に好評。お肉の解凍方法やレシピは便利で助かります。紙面も改善されていて毎回見るのが楽しみ。買いたい試したいと思える企画に期待しています。

### 東中浜店の今! (ピンチをチャンスに)

東中浜店はオープンして15年、当時は民家もまばらで組合員拡大  
大阪B選挙区 総代 中野 由美子さん

に必死で取り組んだことを懐かしく思います。地域に根つこうが付き始めたころな時期に出店ラッシュ、負けられませんでした。日替わり・お楽しみ企画、コープならではの産地からの土曜日店頭販売。店の集客室で組合員活動も。7月初旬にリニューアルオープン、新しい東中浜店をぜひ応援しに来てください。

### もずくを食べてサンゴが育つ海 づくり／サンゴ再生もずく基金・ ココラボ恩納村産味付糸もずく

昨年3月、もずくの産地沖縄県恩納村へ行きましました。恩納村漁協は  
大阪A選挙区 総代 庄司 真咲美さん

里海づくりに努力し、3年前に井ゲタ竹内さんとの間で「サンゴ再生もずく基金」を始めました。パルコープも環境に役立つ事をした組合員の思いで6月から始まり、1品の利用で1円が基金に。おいしいもずくを食べて美しい海を守るとりくみに参加し、パルコープのサンゴの森を増やしましょう。

### 発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

会場発言・文書発言含め44件いただきました。議案を深める意見と受けとめ、個別で具体的な改善要望については、その真意に伝えられるように深めます。6点について報告し、まとめとさせていただきます。

### 商品事業について

2012年度の組合員さんの声に応えた改善は500件、少しは前進しましたがまだまだです。毎週利用いただいている班・個配20万人、店舗8万人の組合員さん一人ひとりが、出資・利用・運営しようと思ってもらえる生協として、その声を商品につなげ、事業につなげます。具体的な要望には平均的な答えではなく、生身の組合員さんの真意に答えていく、という視点が大事と考えます。実現は、目の前の組合員さんに役立ちたい・喜ばれたいの思いで、買う立場に視点を置き、さらに改善改革の質とスピードをもっと上げて組合員さんの期待に応えていきます。

店舗はさらに買いやすい売り場をめざして、来店される組合員さんの求める生協らしい売り場を試行錯誤しながらすすめてまいります。そのひとつとして、東中浜店の改装を7月に行います。

### 食の安全・生産者との交流

原発事故・TPP・日本の農家の高齢化などの中、食の安全は意識して進めないと後退します。パルコープは大阪のお母さんが子どもの健康を願ってつくった組織です。メーカー・生産者の皆さんには、組合員さんの願いを受けて商品を作り交流をしていただきました。生産者との訪問交流は信頼を深めるための、生協の原点です。近くの産地の商品を拡大していきます。

### 総代の役割

総代のみなさんに討議して決めていただくための、より分かりやすい報告内容にしていきます。組合員として気軽に発言していただき、日常のご利用のお声から方針に近づけていきます。そして、総代さんにはまわりの組合員さんにも、「声をだすことが運営参加だ」ということを伝えていただき、そのお声を代弁していただいで方針づくりにいかしていきます。

### 組合員活動について

活動の担い手不足は経済状況が厳しい状況にも起因していますが、委員さんの楽しい地域での活動が活動組合員層を広げた報告もいただきました。憲法改正、TPP交渉開始や平和や食の安全を脅かす動きがあります。先の大戦を教訓に、今の平和憲法があります。その憲法のもとで「自らの生活を協同して守る」という生協は、発展してきました。「語り合い・学び合い」助け合う」組合員活動はますます大事です。このことに確信を持ち、学習と広報活動などを行なってまいります。

### 市民共同発電所

最近の原発再稼働の動き・原発輸出をめぐることは、まるで、福島県での原発事故が無かったかのようにすすめられています。パルコープは、原発に頼らないエネルギー政策を国政に求めるとともに、組合員さん有志が立ち上げられるNPOを背後から支援したいと考えます。

### 被災地支援

被災地は避難生活31万人、「自立・働く・生きる」はほど遠い状況です。パルコープは阪神大震災の経験から、大阪から風化はさせません。被災地を忘れない事・ボランティアバス・募金を続けていきます。7月から東日本復興応援企画を「食べてSmileオリジナル」で毎月1回企画、観光が支援になり被災地の語り部ガイドも入れた東北応援ツアーを9月に行います。